

としょかんの(と・ん)をとって「トントン」といいます

TOMTON



図書館キャラクター
フクちゃん

LIBRARY NEWS No.89 2026 年 1 月

特集 飛行機

今年度の TOMTON は乗り物を特集しています。今回は、飛行機や空港を題材とした本を紹介します。

(凡例) 請求記号 『 書名 』 著者名 出版社 出版年

538.6 『飛行機のしくみパーフェクト事典 知っておきたい基本構造から最新技術まで』
鈴木 真二／監修 ナツメ社 2015

今も世界の空を飛び回っているボーイング 777 をメインに、飛行機が飛ぶための原理の説明から、その製造過程や内部構造、機体に使われる素材について解説されています。また、離陸・着陸の流れや点検・整備に至るまで、写真やイラストで分かりやすく説明されており、初心者でも楽しめる一冊です。



E 6 『飛行機、のるんだ!』 竹永 絵里／作 交通新聞社 2025

家を出て、飛行場で飛行機に乗り、目的地に着くまでを描いた絵本です。文章がないため、想像力を膨らませてお話を作ったり、同じ人やものを探したりと自由に楽しむことができます。巻末には、本文に登場する働く人や乗り物の紹介もあります。

FM HOT 839「図書館へ行こう」放送中!!

図書館職員による図書館イベントやおすすめ本の紹介

第1 週火曜日 11:35 頃 橋本図書館

第2 週火曜日 11:35 頃 相模大野図書館

第3 週火曜日 11:35 頃 相模原市立図書館

第4 週火曜日 11:35 頃 図書館豆知識

* 再放送は翌水曜日 18:05 頃、翌木曜日 16:15 頃、翌金曜日 9:05 頃から放送!

* 公式YouTubeでアーカイブ公開中!

「図書館へ行こう」の放送は <https://fmplapla.com/fmsagami>

FM HOT 839 無料公式アプリで聴けます

ラジオは停電でも防災情報が聴ける防災メディア!!

FMHOT839MHz



【発行】 相模原市立図書館

視聴覚ライブラリー

【所在地】 相模原市中央区鹿沼台 2-13-1

【TEL】 042-754-3604(図書館)

042-753-2401(視聴覚ライブラリー)

ホームページ

Facebook

X(エックス)

YouTube





『あの空の下で』 吉田 修一／著 木楽舎 2008

ANA機内誌『翼の王国』に、2007年から2008年にわたって連載されていた短編小説12編とエッセイ6編がまとめられた単行本です。飛行機と旅にまつわる何気ない物語が清々しく、旅情を誘います。

数々の文学賞を受賞している著者の吉田修一氏は、大ヒット映画『国宝』の原作者として話題になりました。

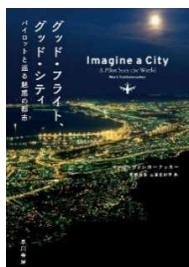


687.9136 『羽田空港おもしろ事典 「東京の空の玄関」の不思議とヒミツ』

羽田航空宇宙科学館推進会議／著 徳間書店 2024

開港前の羽田周辺の歴史に始まり、空港が舞台となった事件・出来事、展望台デッキから楽しむポイントなど、多岐にわたったおもしろいエピソードが満載です。

また、羽田空港の設備や働く人たちについても、知っておきたい選りすぐりの内容になっています。旅行や出張の単なる通過点として空港を利用していたなら、読んだ後は、今までと少し違って見えてくるかもしれません。



687.04 『グッド・フライト、グッド・シティ パイロットと巡る魅惑の都市』

マーク・ヴァンホーナッカー／著 関根 光宏／訳 三浦 生紗子／訳 早川書房 2024

現役エアライン・パイロットである著者が、故郷や思い出の地、フライトで訪れた数多くの国など、「都市」にまつわる記憶を綴ったエッセイです。著者は日本にホームステイしていたこともあり、京都、札幌、東京についても触れられています。



『航空旅行』 イカロス出版

旅先だけでなく、移動手段である飛行機に注目した旅行誌です。出発地の空港から始まり、フライト中に受けられるサービスや機内の雰囲気などの紹介があり、フライトの疑似体験ができる誌面は旅の予習にも役立ちます。旅をしている気分も味わうことができ、旅行が好きな方、飛行機が好きな方にもおすすめです。



687.9 『世界のびっくり空港』 Gakken／編 Gakken 2024

世界のびっくり空港・飛行場を、美しく迫力のある写真を眺めながら、分かりやすい解説で堪能できる一冊です。冬には湖面に氷上滑走路が開設される、アメリカのアルトンベイ水上機基地や、世界でもまれな完全人工島に造られている関西国際空港など、個性豊かな空港が登場します。



CE01998 『まぶた／飛行機で眠るのは難しい』 小川 洋子／著 wis／朗読 響林社

「飛行機で眠るのは難しい」は、多数のファンを惹きつけている女性朗読家 wis 氏が朗読するオーディオブック CD「まぶた」に入っている一編です。ウィーン行きの飛行機に搭乗した女性が、機内で隣席に乗り合わせた男性から語られた奇妙な老女の恋物語を、文字を追うこととは少し違う心地よさで味わうことができます。



ビデオ・CDコーナーからのイチオシ！

冬のおすすめ作品紹介

ビデオ・CDコーナーから、寒い冬におすすめの作品をピックアップしました！

DVD

DO00300 赤・桃

『ホッキョクグマ・ファミリー』
アスゲイル・ヘルゲスタッド／監督
トランスワールドアソシエイツ
2018

北極海に浮かぶ島々スヴァールバルに20年間も通い続ける野生動物カメラマンのアスゲイル。彼は数年前、ホッキョクグマの母熊と2匹の小さな子熊に出会いました。

過酷な環境を生き抜くホッキョクグマの一家を4年にわたり撮影したネイチャードキュメンタリー作品です。

CD

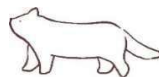
CN02243 ユ

『雪色ポップス』

徳間ジャパンコミュニケーションズ
2016

「なごり雪」や「ゲレンデがとけるほど恋したい」など、誰もが一度は聞いたことのある、冬の定番ポップス曲を集めたコンピレーションアルバムです。

交換展示開催中！！



2月11日（水・祝）まで、ビデオ・CDコーナーにて橋本図書館の視聴覚資料を展示しています。

ぜひお立ち寄りください！

調べものコーナーから



新着本のご紹介



新しく受入した参考資料・郷土資料の中から、調べものだけではなく読んでも楽しめる本を紹介します。

R210 『古事記の博物図鑑 1300年前の日本の生物・植物・鉱物を1000点以上のヴィジュアルで解き明かす』

伊藤 弥寿彦／著 世界文化社 2025



本書は『古事記』に登場する生物・植物・鉱物等について、古代日本人がそれらをどのように認識していたのかを明らかにしています。

「稲羽の素兔^{しろうさぎ}」の章では「実はウサギは白くなかった」ということが論じられ、また、皮を剥がれたウサギに対し^{おおくにぬし}大国主が出したアドバイスで「蒲黄^{がまのはな}」を敷いた上で転がることは日本初の「薬物治療」といわれているなど、生物研究家である著者ならではの解説で、文学とは違った側面からも『古事記』が楽しめます。

ページをめくるたびにわくわく感があふれる博物図鑑です。

視聴覚ライブラリーからのお知らせ

ミニシアター開催予定作品

毎月市立図書館2階の視聴覚室で「ミニシアター」を開催しています。

鑑賞にあたっては事前申込（窓口または電話）が必要です。詳細は館内ポスターなどをご確認いただくか、視聴覚ライブラリーへお問い合わせください。

1月：『十三の眼』 監督：松田 定次
1947年/日本/白黒（76分）
2月：『姉妹』 監督：家城 巳代治
1955年/日本/白黒（95分）
3月：『チップス先生さようなら』
監督：サム・ウッド
1939年/イギリス/白黒・字幕（114分）

視聴覚ライブラリーおすすめ DVD 作品

視聴覚ライブラリーでは、市内の施設や団体に様々な映像資料の貸出をしています。その中から、担当イチオシのDVDを紹介します。

『横道世之介』

2012年/日本/カラー（160分）

監督：沖田 修一 出演：高良 健吾、吉高 由里子 他
物語の舞台は1987年。世之介は、大学進学のため故郷・長崎県の港町を離れ、上京したばかりの18歳。嫌味のない図々しさと頼み事を断り切れないお人好しの性格に、周囲の人間は次第に惹かれていきます。

2025年公開『国宝』が好評を博した吉田修一原作の青春映画です。

お問い合わせ 視聴覚ライブラリー（市立図書館2階）
電話：042-753-2401



← ホームページはこちら

|| 事業報告 ||

サイエンスカフェ ～IES兄といっしょ！～

10月4日（土）／対象：全年齢／参加人数：34名

講師は小惑星探査機「はやぶさ2」のイオンエンジンシステム担当で、広報担当としても活躍していた“IES兄”こと細田聡史氏。おすすめ本のお話では、「はやぶさ2」ミッション遂行時の通信音声の披露や、子どもの頃に夢中になった本の紹介も。現在携わっている“日本版GPS”「みちびき」のお話の後は、みなさんからのたくさんの質問にお答えいただきました。

※ラジオ版サイエンスカフェ（「図書館へ行こう」10月第3週放送分）を図書館公式YouTubeで公開中です。



図書館で“読む”プロに学ぼう！声優体験会 ～四宮豪さん、長谷川暖さんといっしょ～

10月25日（土）／対象：中高生世代／参加人数：11名

「声優の仕事とは」「声優になるには」などのお話や発声方法・早口言葉の練習から始まり、その後には演技指導をいただいて「天使と悪魔、それから私」（『遅刻する食パン少女』所収）の朗読劇を行いました。初対面同士の参加者でしたが、体験会会場で披露した朗読劇は、本番さながらのマイクワークで演じ切ることができました。【協力：（株）CHINTAI】

※ラジオ版声優体験会（「図書館へ行こう」11月第3週放送分）を図書館公式YouTubeで公開中です。

